



新米パパの禁煙を応援します！

～赤ちゃんのいる喫煙者家庭に禁煙スタート券を配布～

練馬区は、6月1日から、赤ちゃんが誕生したすべての家庭に助産師・保健師が訪問する「こんにちは赤ちゃん訪問」の際に、喫煙者が同居する家庭に2,000円分の禁煙スタート券を配布する事業を開始する。

禁煙スタート券は、禁煙を決意したパパ(または、同居家族)が、区内の禁煙支援薬局でニコチンパッチなどの禁煙補助剤の購入に使用できる2,000円分のクーポン券となっている。また、一緒に配布する禁煙支援パンフレットは、赤ちゃんがパパにむかって受動喫煙の害や禁煙方法を語りかけ、タバコを吸っているパパに禁煙への決意を促す。

スタート券を利用できる有効期間は、赤ちゃんが1歳となる前日まで。体に悪いと分かっている禁煙に踏み切れないパパ達のために、ゆっくり考える時間を設けているのも特徴である。このような子どもの誕生と結びつけた禁煙対策は、全国でも珍しい。

区の担当者は、「お子さんの誕生という人生の一大イベントを機会に、家族と自分の将来のため、ぜひ禁煙に挑戦してほしい」と話している。

【薬剤師会との協働で禁煙支援】

区は、平成22年から24年まで、練馬区薬剤師会と協働して、区内の禁煙支援薬局で禁煙相談を受けた区民に、2週間分の禁煙補助剤の購入費用を助成してきた。

3年間で301人が制度を利用し、約30%が禁煙に成功したとアンケートに答えている。今年度は、効果をさらに高めるため、禁煙の必要性の高い赤ちゃんのいる家庭を対象とした。

今回も練馬区薬剤師会が全面的に協力し、区内37か所の禁煙支援薬局で禁煙相談を受け付ける。

※本事業は、新生児の父親を主な対象として想定しているが、必要であれば母親や同居する祖父母等も対象となる。



こんにちは赤ちゃん訪問で禁煙支援パンフレットを配布（イメージ）

【4割の家庭で赤ちゃんに受動喫煙の危険が！】

区が実施した乳幼児健診（平成21年度・22年度）におけるアンケート調査によると、同居家族が喫煙している割合は40.3%であり、多くの乳幼児が受動喫煙の危険にさらされていることが判明した。また、喫煙者の多くは父親であると推測される。

【子育て世代が禁煙すると効果は数倍に！】

20代から40代の子育て世代が禁煙することは、がん予防、動脈硬化予防、歯周病予防など、本人の将来の健康に大きな効果を与える。また、親の喫煙が、子どもの将来の喫煙を促進させるという研究データもあり、早い時期に親が禁煙することで、子どもの将来の喫煙を抑制することも期待できる。もちろん、パパの禁煙は、子どもや家族の受動喫煙防止にも直結するため、子育て世代の禁煙の成功は、2倍3倍の波及効果をもたらす。